

CO₂ 排出量削減に向けた取り組みの一環

サントリーホールディングスとバイオ燃料のトラック輸送を試行

6月から7月まで試行結果の検証を実施

鴻池運輸株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役会長兼社長執行役員 鴻池 忠彦、以下 鴻池運輸）は、サントリーホールディングス株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長 新浪 剛史、以下 サントリーホールディングス）と共同で^{※1}、軽油と代替可能なバイオ燃料（リニューアブルディーゼル^{※2}）によるトラック輸送の試行および検証を、2022年6月11日（土）から7月22日（金）まで実施しています。

※1 サントリーホールディングス報道発表 2022年7月20日 <https://www.suntory.co.jp/news/article/14197.html>

※2 生物由来の非可食油を原料に精製された燃料で、石油由来の軽油を使用した際と比較し、CO₂の排出量を約90%（資源採取、原料生産、製品生産、流通・消費の一連での評価）削減可能なもの

この試行は、サントリーホールディングスからお声かけいただいたことを好機に開始したもので、製品輸送時のCO₂排出量削減に効果が期待されるリニューアブルディーゼルを、神奈川県内での同社の飲料製品の配送時に、鴻池運輸の大型トラック1台で試験的に使用するものです。鴻池運輸は、リニューアブルディーゼルの実導入について、現時点では未定ですが、CO₂排出量やコスト、給油場所を考慮した輸送経路等の検証を進め、今後の導入方針を検討してまいります。

鴻池運輸は、先般策定した「2030年ビジョン^{※3}」の非財務目標の一つとしてCO₂削減目標（2019年3月期比35%減）を掲げており、その実現に向けた最初の3カ年（2023年3月期～2025年3月期）の「新中期経営計画^{※4}」においても、重点事項の一つにサステナビリティの追求を定め、3年間のCO₂削減目標（同20%減）も設定しています。今回のリニューアブルディーゼルによるトラック輸送の試行の他、鉄道輸送へのモーダルシフト推進や、幹線輸送の省人化・効率化を推進するNEXT Logistics Japanの取り組みへの参入^{※5}等さまざまな施策を通じて削減目標を達成し、脱炭素社会・持続可能な社会の実現に貢献していきます。

※3 「2030年ビジョン紹介」 <https://www.konoike.net/vision/>

※4 「新中期経営計画説明資料」 https://ssl4.eir-parts.net/doc/9025/ir_material_for_fiscal_ym2/118440/00.pdf

※5 関連報道発表 2021年2月1日 https://ssl4.eir-parts.net/doc/9025/ir_material12/178314/00.pdf

■リニューアブルディーゼルによる輸送を試行したトラック ※写真はイメージ



（報道関係者様お問い合わせ先） 広報室 古屋、^{じくはら} 竺原 tel:03-3575-5753

■ 鴻池運輸株式会社の概要は、弊社 Web サイトをご覧ください。(<https://www.konoike.net/>)

KONOIKE グループは、物流の枠を超え、製造、医療、空港業務などを通じ、社会課題の解決と革新に挑戦し続ける、プロフェッショナルサービス集団です。

商号	鴻池運輸株式会社 ※東証プライム市場	代表者	代表取締役会長兼社長執行役員 鴻池 忠彦
大阪本社	大阪市中央区伏見町 4-3-9	東京本社	東京都中央区銀座6-10-1
創業	1880 (明治 13) 年 5 月	会社設立	1945 (昭和20) 年5月30日
資本金	1,723百万円	従業員数	約23,000名 (連結) ※臨時雇用者数を含む
売上高	301,373百万円 (連結)	営業利益	10,288百万円 (連結)
事業内容	請負サービス(製造業界向け、サービス業界向け)、物流サービス(国内物流、国際物流)		

※資本金、従業員数、売上高、営業利益：2022年3月31日現在。

●本ニュースリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。